

新しい発見、新しい結合、新しい価値。



# 北陸未来共創フォーラム

産学官金プラットフォーム for Innovation challenge

<https://hokuiku-mirai.jp>

# Diversity × Innovation

北陸未来共創フォーラムとは、地方創生に向けて、  
多種多様な北陸のプレーヤーが出会い、交流するための  
「産学官金プラットフォーム（地域連携プラットフォーム）」です。

北陸地域（富山県・石川県・福井県）に、  
拠点を有する法人・事業主の方、  
国の機関・地方自治体であれば、  
どなたでも会員登録可能です。

## 活動コンセプト

- 1 北陸地域における「地方創生」に対する強い意欲と貢献心をもって活動します。
- 2 1つの大学や、企業、機関、団体だけではなく、皆で取り組むという意志をもって活動します。
- 3 「出会いの場」という趣旨のもと、持続的かつ中長期的な視野をもって活動します。

北陸未来共創フォーラムは、会員登録型のプラットフォームです。  
本フォーラムに会員登録いただいた皆様には、以下の2つの事業を提供します！



全会員向けのイベント開催

### 広く知る！

本フォーラムが主催するイベントや、  
各分科会の事例発表会等を通して幅  
広く情報を得られます。



テーマ別の分科会・ワーキンググループの実施

### 深く学ぶ！

興味・関心のあるテーマのもとに集った  
者同士による情報共有や議論を通  
してイノベーションのヒントを得ら  
れます。

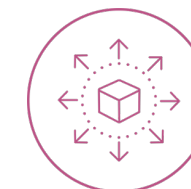
## 分科会

北陸未来共創フォーラムでは、「経済・  
産業活性化」と「人材育成・地域定着」  
の2つの未来ビジョンを掲げ、6つの  
分科会を設置しています。

各分科会では、具体的に取り組む課題  
を設定し、ワーキンググループのもと  
でそれぞれの知見の共有や意見交換を  
行っています。ぜひ、興味のある分科  
会に登録いただき、ワーキンググルー  
プにも積極的にご参加ください！

### 未来ビジョン I

経済・産業活性化



マテリアル



先端エレクトロニクス



地元人材育成



ヘルスケア



次世代農林水産



人材流入・地域定着

### 未来ビジョン II

人材育成・地域定着

# マテリアル分科会

先進的マテリアルや、カーボンニュートラル技術開発に基づいた  
産業創出・育成に挑戦します！

## 分科会の趣旨

北陸地域の研究機関と産業界との共創により、先進的なマテリアル開発及びカーボンニュートラルを推進し、産業の高度化と新産業を創出することを目指します。そのため、高度な情報科学を駆使した五感などの生体機能に係わるセンシング技術、デバイス開発やアルミニウムを主とする軽金属材料のリサイクルシステムの確立などの研究開発も視野に入れて、北陸地域の産学官金が集い、定期的な情報交換を行う場を形成し、課題解決に挑戦します。R4年度からは、フォーラムにおけるマテリアル分野の新たな価値の共有のため、年2回程度、分科会主催のセミナー及び事例発表会を予定しています。

分科会の趣旨のもと、具体的にターゲットを絞った課題テーマを設定し、  
産学官金が集う場（ワーキンググループ）を定期的に開催中！

## 五感情報通信に基づく学際的研究開発

### 課題テーマ概要

人の五感に係わるセンシング技術、デバイス開発、感覚モダリティーを中心とした五感情報通信技術の社会実装に向け、北陸地域を中核とした自治体や事業者、ベンチャー企業、大学の研究者らが集い、最新動向の調査・情報共有を図るとともに、シーズ／ニーズ研究から総合的に見た産学官研究として幅広い分野に活用することが議論できるネットワークを形成します。

### 出口戦略

五感情報通信技術の社会実装、産業化を視野に入れ、多様な分野からの専門家による議論を行う産学官連携ネットワークの「場」を形成します。

## 高度資源循環システムを基軸とする高機能新素材ものづくり基盤の確立

### 課題テーマ概要

カーボンニュートラルを背景として、アルミニウム、鉄鋼材料、セラミックス、樹脂などの高機能素材の製造・加工プロセスに環境価値という資源循環の要素を新たに取り込み、北陸地域を拠点にした実証型新素材事業及び材料科学と産業技術の研究を推進します。

### 出口戦略

- (1) 各地域の素材産業の現状と課題の明確化
- (2) 各素材のリサイクル技術要素課題を策定  
数値目標：各素材（アルミニウム、鉄鋼、セラミックス、樹脂）についての不純物等の影響を調査（文献調査）
- (3) 再生材の新規用途開拓の探索  
数値目標：新用途を令和4年から5年以内に3件提案

※いずれのテーマも3～4ヶ月に1回程度研究会等を開催しています

# 先端エレクトロニクス分科会

最新のエレクトロニクス技術の利用・応用を起点とする  
北陸発の産業創出・育成に挑戦します！

## 分科会の趣旨

固有の技術を生かしたニッチトップ企業が多数存在する北陸地域特有の製造業の強みと地域の国立大学および公立研究機関が保有する先端エレクトロニクス技術の融合により、北陸発の新たな産業の創出・育成を目指します。そのため、北陸地域の産学官金の関係者が定期的に集い情報交換する場を形成し、社会実装、産業化に向けた具体的な課題を明らかにするとともに、最新技術動向の調査・情報共有、シーズ・ニーズマッチングによる産学官金交流・連携を促し、産学官金連携プロジェクトの創出に挑戦します。

分科会の趣旨のもと、具体的にターゲットを絞った課題テーマを設定し、  
産学官金が集う場（ワーキンググループ）を定期的に開催中！

## セキュア電磁エネルギー応用

### 課題テーマ概要

電磁エネルギー、特にマイクロ波から紫外までの広範囲な周波数領域の電磁エネルギーの安全(セキュア)かつ有効な利用・応用、社会実装を目指し、最新動向の調査・情報共有を行います。

- 直接電磁エネルギーを用いるもの  
[無線通信、電磁波焼結]
- 電磁波の安全性評価
- 電磁波を用いた計測[分光、イメージング]
- 電磁波の光源開発[レーザー、マイクロ波]

### 出口戦略

- (1) 産学官共同開発プロジェクトの提案
- (2) 共同開発プロジェクトに関する県・国の産学連携関連助成金の申請、および大学の産官学連携の仕組みを活用した社会実装支援

数値目標：2026年度までに、支援実施例(FS) 5件以上、社会実装事例 1件以上

## センシング技術

### 課題テーマ概要

近年のデジタル化の加速により、あらゆる産業で活用が広がるセンシング技術。交通、環境、製造、流通、エネルギー、農業、健康、医療など各分野における社会課題解決や産業構造の変革を生み出す基盤となるセンシング技術の高度化、それらを活用したシステム構築・応用研究の共創を目指し、産業・業種を超えた多種多様な研究の技術・研究交流を推進します。

### 出口戦略

- (1) 異なる分野の研究者間の情報交換と研究交流によって、新しいセンシング手法、新技術、新製品、新しい研究を生み出す産学官金連携による共同研究創出
- (2) 産学官金連携による共同研究創出

数値目標：2026年度までに、共同研究の実施 5件以上、社会実装事例 2件以上

※いずれのテーマも3～4ヶ月に1回程度研究会等を開催しています

# ヘルスケア分科会

未病ケアや健康増進等を含む  
次世代ヘルスケア産業の創出・育成に挑戦します！

## 分科会の趣旨

北陸地域において、次世代ヘルスケア産業を創出・育成することを目的とします。そのため、ヘルスケア産業とその周辺産業との連携により、（１）医療・健康機器の開発・事業化（２）先進医療に係る機能性材料・デバイス・センサー等の研究・技術開発を行います。また、未病ケア・健康増進等の要素を含んだ次世代ヘルスケアにも焦点を当て、北陸地域の産学官金が集い、定期的な情報交換を行う場を形成し、課題解決に挑戦します。

分科会の趣旨のもと、具体的にターゲットを絞った課題テーマを設定し、  
産学官金が集う場（ワーキンググループ）を定期的に開催中！

## 医療・健康機器の開発

### 課題テーマ概要

各大学の医学・工学分野を中心とした研究成果を基盤に、北陸地域のものづくり企業や行政と連携し、医療・健康機器の開発及び事業化を行います。

### 出口戦略

各大学の開発プロジェクトを現時点の開発段階に応じて3段階に分け、【C:シーズレベル、B:臨床試験・プロトタイプ、A:医師主導治験・臨床実装】

- （１）C、B段階のプロジェクトについて、企業マッチングおよび特許出願等の支援を行い、5～6年後において計10以上のプロジェクトをA段階にステップアップさせます。
- （２）A段階のプロジェクトについて企業との共同研究を進めさせ、5～6年後において計5以上のプロジェクトを社会実装し、製品化・商品化させます。

## 健康・医療産業のための材料・機器の創出

### 課題テーマ概要

健康増進、先進医療に係る機能性材料、デバイス、センサー、健康食品、化粧品等の研究・技術開発を行い、それらの技術の向上と発展に貢献する事を目指します。

### 出口戦略

本WGでは機能性材料の活用を主軸とした、  
（１）癌や再生医療に係る機能拡張型モダリティ（低分子医薬、核酸・中分子医薬、細胞医療等）  
（２）パーソナルな健康維持・管理を実現するデバイス、センサー  
（３）治療や予防、アンチエイジング等を実現する機能性食品、化粧品の開発を目指します。

これらの研究開発を相補的に遂行することで、北陸地域を起点とする、健康・医療産業のための骨太、かつ新奇な技術プラットフォームの創出、ならびに社会実装化に向けた技術力と産学官金ネットワークの強化を行います。

※いずれのテーマも3～4ヶ月に1回程度研究会等を開催しています

# 次世代農林水産分科会

ICT・工学分野との融合による  
農林水産イノベーションに基づいた産業創出・育成に挑戦します！

## 分科会の趣旨

北陸地域の農山漁村発の農林水産イノベーションを創出し、既存の農林水産業の振興と新たな産業を創出・育成することを目指します。そのため、農林水産業と農林水産業以外の多様な分野（ここでは、特にICT分野、工学分野）との連携により、食料生産・確保、バイオマス・プロダクト・ツリーなどの観点から、オープン・イノベーションの創出が期待できるスマート農林水産業に焦点を当て、北陸地域の産学官金が集い、定期的な情報交換を行う場を形成し、課題解決に挑戦します。

分科会の趣旨のもと、具体的にターゲットを絞った課題テーマを設定し、  
産学官金が集う場（ワーキンググループ）を定期的に開催中！

## 農業・林業のスマート化

### 課題テーマ概要

AIやICT、ロボット技術等による農林作業の自動化・低コスト化、様々なデータを活用するデータ駆動型の営農・栽培管理システム、など生産性向上に繋がる研究開発テーマについて、情報共有・ディスカッションを行います。

### 出口戦略

- （１）各地域の農業・林業におけるスマート化の現状と課題の明確化
- （２）データを活用した効率的な営農活動や適切な肥料・農薬等の散布を通じた持続可能なスマート農林業のシステム、自動化機械・ロボット等を活用した農林業現場の無人化・省力化システムの開発

数値目標：令和4年から3年以内に3件の提案・可能性調査（FS）を実施

## 北陸次世代水産業開発

### 課題テーマ概要

北陸発のサステナブルなスマートリゾートに繋がる魅力ある水産業を実現すべく、IoTを活用して漁獲魚及び市場情報を獲得し、受け手の飲食業・観光業者が活用することで、流通の効率化とユーザ体験に立脚した魅力あるサービス創出を目指し、漁業者と飲食業・観光業者が情報共有・ディスカッションを行います。

### 出口戦略

- （１）各地域のスマートリゾートや水産業の取り組みの現状と課題の明確化
- （２）DXによる水産バリューチェーンの構築とユーザ体験に立脚した魅力あるサービスの創出

数値目標：令和4年から3年以内に3件の提案・可能性調査（FS）を実施

※いずれのテーマも3～4ヶ月に1回程度研究会等を開催しています



# 地元人材育成分科会

北陸地域の地元人材の能力開発や、  
実践的な知見の獲得・醸成に挑戦します！

## 分科会の趣旨

北陸地域の企業と連携し、北陸地域の学生や在住者の能力開発・知見の醸成を支援する取り組みを推進することを目指します。そのため、本分科会においては、地方創生の観点を意識し、事業創造力や経営力を持った若手人材（大学生等）の育成や、地元人材（社会人等）のキャリアアップ、スキルアップなどに資する取組・事業を検討した上で、企業等とも協力し、社会共創による人材育成を行います。

分科会の趣旨のもと、具体的にターゲットを絞った課題テーマを設定し、  
産学官金が集う場（ワーキンググループ）を定期的に開催中！

## 戦略的な地域インターンシップ

### 課題テーマ概要

地域の課題解決に挑む事業の企画や運営の実践力を鍛える戦略的な地域インターンシップの実現を目標として、北陸地域のニーズと情報を広く集め、相互に戦略を交換することを通じて、地方創生を牽引する若手人材（大学生等）を育成します。

### 出口戦略

- （１）各機関等で実施しているインターンシップの現状と課題の明確化
- （２）若手人材育成に向けた、北陸地域における企業等のニーズと情報の把握と、人材育成手法としての地域インターンシップの開発・実施

## 地元人材のキャリアアップ・スキルアップ支援

### 課題テーマ概要

大学と地域社会との連携により、地元社会人等のキャリアアップ・スキルアップに貢献できるリカレント教育や学び直しの実現を目標として、北陸地域のニーズと情報を広く集め、相互に戦略を交換することを通じて、地方創生を牽引できるキャリア・スキルをもった中核人材を育成します。

### 出口戦略

- （１）各機関等で実施しているリカレント教育や学び直し事業の現状と課題の明確化
- （２）地域の中核人材育成に向けた、北陸地域における企業等のニーズと情報の把握と、プログラム間連携や新たなプログラムの開発・実施

※いずれのテーマも3～4ヶ月に1回程度研究会等を開催しています

# 人材流入・地域定着分科会

都市部や海外など、北陸以外からの人材の呼び込みと  
地域就業・定着に挑戦します！

## 分科会の趣旨

北陸地域の企業と連携し、都市部や海外など北陸以外からの人材を呼び込むとともに、北陸地域での就業・定着の促進を目指します。そのため、本分科会においては、都市部人材や留学生といった外部人材と受け入れ企業等とのマッチング促進や、その後の地域定着に資する取組・事業を検討した上で、企業等とも協力し、社会共創による人材育成を行います。

分科会の趣旨のもと、具体的にターゲットを絞った課題テーマを設定し、  
産学官金が集う場（ワーキンググループ）を定期的に開催中！

## UIターン人材の活用・定着

### 課題テーマ概要

都市部の人材による北陸地域の企業への支援を通じて、地域企業支援に必要な知見を学ぶことができる実践型リカレント教育の場を提供することで、北陸地域の企業が都市部の人材を活用できるネットワークの形成と、都市部の人材が地域企業へと流動化するエコシステムの確立を目指します。

### 出口戦略

- （１）都市部で活躍する人材と北陸地域の企業とのマッチングを行い、地域企業の活性化や人材の高度化に貢献
- （２）都市部で活躍する人材を、北陸地域における高等教育機関の客員研究員として受け入れ、リカレント教育の場を提供

## 留学生・外国人人材の活用・定着

### 課題テーマ概要

優秀な留学生や外国人人材を北陸地区に呼び込み、地域企業へのインターンシップおよび就業の機会を提供することで、北陸地域の企業が留学生や外国人人材を活用できるネットワークの形成と、留学生や外国人人材の地域への着実な定着と活用を目指します。

### 出口戦略

- （１）産学官金の各参画ステークホルダーが抱える課題の明確化と共有
- （２）課題解決を効果的に実施していくための連携体制の構築
- （３）「キャリア教育」「地域定着教育」「ビジネス日本語教育」を軸とする共通化された教育プログラムの開発

※いずれのテーマも3～4ヶ月に1回程度研究会等を開催しています

## 新規入会に必要なものは何ですか？

**A 入会については、指定のWebフォームからの登録申請をお願いしています。**

なお、行政機関（国・自治体関係者様）、法人格を有する企業・団体様等については、登録時に国税庁が指定する「法人番号」を入力くださいますようお願いいたします。（登録フォームから検索できます。）



入会登録用  
Webフォームはこちら



法人番号についてはこちら

## 入会するための資格はありますか？

**A 北陸地域に拠点を有する事業者様（個人事業主様を含む）であれば、どなたでも入会可能です。**

また、原則として団体全体としての登録をお願いしておりますが、各自ご判断のもとで支店・営業所や部署・部門単位での登録も可能です。

## どのような企業・団体が参加していますか？

**A 北陸地域に拠点をもつ業種・職種の皆様に幅広くご参加いただいております。**

北陸地域にある地方公共団体や、営利・非営利含め、様々な業種・職種の企業・団体の皆様にご参加いただいております。

## 会員登録時やワーキンググループ等に参加する際、費用は発生しますか？

**A 登録料は無料です。また年会費等の徴収もありません。**

また、分科会・ワーキンググループへの参加についても基本的には無料ですが、特別な限定プログラムなどを実施する場合は事前に周知の上で、実費相当の費用を徴収する場合があります。

## 会員登録した場合、義務付けられる活動はありますか？

**A 活動が義務付けられることはありません。**

各分科会のもとで実施されるワーキンググループやその他の会合などへのご参加は、会員様各自の自主的な活動となります。多様な立場からの情報共有・活発な意見交換を期待しておりますので、皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

（名称）

第1条 本会は、北陸未来共創フォーラム（英文名：HOKURIKU Open Platform for Co-creating the Future）と称する。

（目的）

第2条 本会は、北陸地域（富山県、石川県及び福井県を言う。以下同じ。）における地域経済の持続的な活性化と人口減少の克服に向けた社会的連帯を醸成し、もって北陸地域における地方創生を果たすため、北陸地域における多様な機関・団体が、業種や組織規模等を超えて積極的に交流し、それぞれの知見や情報を共有する機会及び場を創出することを目的とする。

（活動内容）

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる活動を行う。

- （1）地域経済の活性化及び人口減少の克服に向けた会員間の交流及び情報共有の促進に関する活動
- （2）地方創生に向けた広域的取組や複合的取組の推進・普及及び啓発に関する活動
- （3）その他本会の目的を達成するために必要な活動

（会員）

第4条 本会の会員は、本会の目的に賛同し、本規約を遵守する以下の会員をもって組織する。

- （1）主幹会員 北陸経済連合会、国立大学法人富山大学、国立大学法人金沢大学、国立大学法人福井大学、国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学
  - （2）一般会員 前号に掲げる者を除く北陸地域に主たる事業所等を置く営利企業、高等教育機関、研究機関、公益団体等
  - （3）自治体会員 北陸地域における県または市町村（公設試験研究機関を含む。）
2. 本会への加入を希望する者は、その旨を事務局に申し出ること、会員となる。
3. 本会への加入を希望する者が、次の各号のいずれかに該当する場合、本会は入会を拒否することができる。
- （1）前項に関わる提出書類等に明らかに虚偽の記載が認められる場合
  - （2）反社会的勢力との関係があると認められる場合
  - （3）その他本会の運営に当って重大な支障が生じると認められる場合
4. 会員は、その旨を事務局に申し出ることにより退会することができる。
5. 会員が次の各号のいずれかに該当する場合、本会はその会員を除名することができる。
- （1）本規約に違反又は本会の信用を著しく害したとき
  - （2）会員が解散又は営業を停止したとき
  - （3）反社会的勢力との関係があることが判明したとき
  - （4）その他本会の運営に当って重大な支障が生じると本会が認めたとき

（会長等）

第5条 本会に、会長1名、副会長複数名及び幹事複数名を置く。

2. 会長及び副会長は、運営統括会議が主幹会員、一般会員の中から選出する。
3. 幹事は、運営統括会議が主幹会員、一般会員又は自治体会員の中から選出する。
4. 会長は、本会を代表し、会務を掌理する。
5. 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。
6. 幹事は、会長及び副会長を補佐し、会務の実務を担う。
7. 会長、副会長、幹事の任期は2年を超えない範囲で運営統括会議が定める。ただし、再任を妨げない。

（会費）

第6条 本会の会費は当面これを徴収しない。ただし、本会の運営に当たり特に必要と認められるときは、運営統括会議の議を経て、実費相当額の負担を全部又は一部の会員に求めることができる。

（運営統括会議）

第7条 本会の運営に関する重要事項を審議する最高意思決定機関として、運営統括会議（ステアリング・ボード）を置く。

2. 運営統括会議は、会長、副会長、幹事により構成し、議長が指名する者を加えることができる。
3. 運営統括会議に議長を置き、会長をもって充てる。
4. 運営統括会議は、議長が招集し、開催する。なお、必要に応じて書面（電子メールを含む。）による開催とすることができる。
5. 運営統括会議は、次の各号に掲げる事項を決定する。
  - （1）会長、副会長、幹事の選出及び任期に関する事項

（2）本会の規約の制定及び改廃に関する事項

（3）地域経済の活性化及び人口減少の克服に向けた会員間の交流及び情報共有の促進に資する分科会及びワーキンググループの設置及び改廃に関する事項

（4）本会の解散又は本会の運営に関する重要事項

6. 運営統括会議の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数の場合は議長の決するところによる。

（実務連絡会）

第8条 本会が行う活動状況を確認するとともに一層の活動促進を図るため、実務連絡会を置く。

2. 実務連絡会は、幹事及び運営統括会議が指名した者により構成する。
3. 実務連絡会に運営統括会議が指名する議長を置き、会を統括する。
4. 実務連絡会は、議長が招集し、開催する。なお、必要に応じて書面（電子メールを含む。）による開催とすることができる。
5. 実務連絡会は、次の各号に掲げる事項を協議し決定する。
  - （1）地方創生に向けた広域的取組や複合的取組の推進・普及及び啓発事業に関する事項
  - （2）その他本会の活動状況の確認又は活動促進に関する事項
6. 実務連絡会の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数の場合は議長の決するところによる。

（分科会及びワーキンググループ）

第9条 本会に、地域経済の活性化及び人口減少の克服に向けた会員間の交流及び情報共有の促進に資するため、特定のテーマを定めた分科会を設置することができる。

2. 分科会の構成員は本会の会員から組織するものとし、会員は、分科会に自由に参加登録又は登録解除することができる。
3. 分科会に、分科会責任者を置く。
4. 各分科会の下に、定められたテーマに基づく個別具体的な意見交換や共通課題の解決に向けた方策の検討等を行うため、ワーキンググループを置く。
5. 会員は、参加登録した分科会の下で開催されるワーキンググループの活動等に、自由に参加することができる。
6. 分科会又はワーキンググループの活動において知得した他の会員の技術的な情報及び相互交流により知り得た他の会員の秘密を第三者に開示又は漏洩を秘てはならない。ただし、事前に相手方の同意を得た場合はこの限りでない。
7. 分科会又はワーキンググループの活動において、必要に応じて参加会員に秘密保持契約等の締結や守秘義務に係る誓約書の提出を求めることがある。
8. 分科会又はワーキンググループの活動状況及び検討成果は、原則として会員に共有するものとする。ただし、他の会員に広く共有することが望ましくない知見及び情報が含まれると分科会責任者が判断した場合は、この限りでない。

（外部評価）

第10条 本会の目的を達成するため、必要に応じて本会の運営及び活動に関して、外部から評価及び助言を受けることとする。

2. 外部評価に関する必要な事項は別に定める。

（事業年度）

第11条 本会の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

（事務局）

第12条 本会に、会務運営等の事務を処理するため、事務局を置く。

2. 事務局の事務は、国立大学法人金沢大学、国立大学法人富山大学、国立大学法人福井大学及び国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学が共同して処理する。

（情報公開及び個人情報の保護）

第13条 本会は、公正で開かれた活動を推進するため、機密とするべき情報を除き、その活動状況、運営内容等を積極的に公開するものとする。

2. 本会は、業務上知り得た個人情報の保護を適切に行うものとする。

3. 会員は、本会を退会後も前項の規定が適用されるものとする。

（雑則）

第14条 この規約に定めるもののほか、本会の運営に関して必要な事項は別に定める。

附則

1. この規約は、令和3年10月27日から施行する。
2. 本会の設立時の事業年度は、本会設立の日から令和4年3月31日までとする。



新しい発見、新しい結合、新しい価値。

北陸未来共創フォーラム  
産学官金プラットフォーム for Innovation Challenge



詳しくはWebサイトをご覧ください

北陸未来共創フォーラム 🔍